



サイクリストの聖地—しまなみ海道—に魅せられて

東京都立産業技術研究センター上本道久さんからバトンを引き継ぎました高知県工業技術センターの隅田 隆と申します。上本さんとは、産業技術総合研究所と全国の公設試験研究機関でつくる産業技術連絡会議の知的基盤部会分析分科会で運営委員をやっておりました時に知り合ってから、公私ともにお付き合い頂いております。ジャンルを問わず博学卓識なお方で、以前アロハシャツについてお話を聞かせていただき、前回の Pacificchem に参加した時に本場のアロハシャツを買ってしまったことを覚えております。

さて、初めに私が勤めています高知県工業技術センターにつきましても簡単に紹介させていただきたいと思っております。高知県工業技術センターは高知県庁商工労働部に属する公設の試験研究機関で、一般的に公設試と呼ばれており、企業（特に中小・ベンチャー企業）の技術支援を目的に設置されております。組織としては、総務課、研究企画課、食品開発課、生産技術課、資源環境課で構成されており、職員数は正職員で34名となっております。

業務内容では、大きく分けて研究開発と、企業からの技術相談・依頼試験になります。特に技術相談・依頼試験ではほぼ毎日のように依頼が寄せられてきておまして、こうした相談や試験をきっかけに当センターとの共同研究となることも少なくありません。これは、企業の方からしますと不足している基礎研究の試験結果を得ることができず、私どもとしましては企業の持つ現場でのものづくりのノウハウに接することができます。また、大学や国の研究所の有する先端技術の活用や実用化が期待されているところですが、企業の方からしますとやはりどうしても「敷居が高い」という声もあり、どう付き合えば良いか戸惑うケースもあると聞いております。こうしたところでも当センターが間に入り、新たな研究開発に繋げております。

ずいぶん前振りが長くなりましたが、ここからタイトルのことについてお話を始めたいと思っております。18年も前になりますが、私が工業技術センターに赴任した時から始めた自転車通勤をきっかけにサイクリングを楽しむようになりました。特に、愛媛県今治市と広島県尾道市の間にある六つの島と架橋による本州-四国間のしまなみ海道にはすっかりハマりました。大島-伯方島-大三島-生口（いくち）島-因島-向島、これらの島を通り今治と尾道を結ぶ全長約70kmのしまなみ海道は1999年に開通し、日本で初めての海峡を横断する自転車道（瀬戸内海横断自転車道）となっております。海上を自転車で行ける珍しい道路であることから、サイクリストや自転車愛好家には特に人気の高いルートであり、地元だけでなく遠方からの自転車旅行者も目立ちます。これらの島と橋、目の前に広がる青い海ということで、サイクリストの聖地となっております。私もリピーターとしてしまなみ海道に通っておりまして、2013年に記念すべき10回目の完走となりました。私の場合のルートをお申しますと、四国側の今治市糸山ターミナルを起点と



して、来島海峡大橋-伯方・大島大橋-大三島橋-多々羅（たたら）大橋-生口橋-因島大橋と各島を渡り広島尾道市に一番近い向島まで行きますが、向島から尾道には渡船で渡ります。尾道には尾道大橋があるのですが、車の交通量もとても多く路肩も狭いので残念ながら自転車通行禁止です。そのため一般的には近くの渡船を利用しています。もっとも乗っている時間は数分です。船を降りて本州を実感し尾道駅前の公園で休憩したら折り返しです。往路と同じルートで渡船に乗るところから今治市を目指します。さすがに少し疲れもでてきて、おだやかな瀬戸内の海を眺めながらゆっくりペダルを踏むこととなります。往復約140kmで7~9時間の所要時間です。これまで10回往復しましたが、毎回新しい発見もありますし他のサイクリストとの出会いもあり10通りの楽しみがありました。2013年には7時間15分の自己最高タイムを記録し、まだまだ若いと自分に驚いております。

このリレーエッセイの原稿を執筆している2014年10月には「瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会」に参加しました。写真は111kmコースのスタート前に撮ったもので、しまなみの自動車道を閉鎖して今治ICがスタートゲートになっています。もちろん、ETCカードなしでもゲートは開きました。約7200人のサイクリストが参加してのイベントで私も大いに楽しむことができました。2014年7月から2015年3月の期間限定ですが、橋の通行料も自転車の場合無料です。またWi-Fiの無料スポットも多く設置されています。読者の皆様も機会がありましたら、しまなみのサイクリングをお楽しみくださいませ。

今回の執筆者は、京都市産業技術研究所の南 秀明さんをお願いしました。南さんとは、前述の分析分科会でお会いして以来、材料分析で様々なご助言をいただいております。お忙しい時期にもかかわらずご快諾いただきありがとうございます。

〔高知県工業技術センター 隅田 隆〕